

勝山市の地産地消の取り組み



地元の生産者を招いて農業の大切さを学びます（成器西小学校）



摘み取った新鮮なイチゴが給食のデザート（成器南小学校）

学校給食での取り組み
市内の学校給食では地域でとれた農産物（米、野菜等）が使われています。
新鮮で安心できる野菜類を学校給食に利用することで、児童の「食育」や地域農業への関心が深まることを目的に、生産者グループが納入しています。
また、給食に地域で伝わる郷土食を取り入れることや、総合学習での生産者を招いた体験農業などを通じて「食」のたいせつさを学んでいます。

（生産者グループ）

- 「すみれグループ」 成器南小学校
- 「きらめきファームおそわ」 三室小学校
- 「ファーマーズマーケットかつやま北郷」 北郷小学校
- 下川さん（個人） 成器西小学校
- 「ファーマーズマーケットあらど」 荒土小学校



地元で養殖された「アマゴ」



「とれたての野菜、おいしいね!」（北郷小学校）



給食感謝集会で児童らが「食」のたいせつさを発表（三室小学校）

施設名称	設置場所	開催日時	事業内容	運営主体
大渡婦人グループふれあい市場	平泉寺町大渡	4月～11月末まで毎日 午前7時～12時	農林産物 野菜、花	大渡婦人グループ
平泉寺大門市	平泉寺町平泉寺	4月中旬～11月23日 午前7時～午後3時	農林産物 野菜、加工品、花	大門市世話人会
ふるさとの味かっちゃん	村岡町郡	毎週土・日 5月連休・8月お盆	農林産物、野菜、加工品、花、 うどん、きびだんご等軽食	ふるさとの味かっちゃん
あぜみち研究会	旭町2丁目	6月～12月 毎週土曜日 午前6時30分～10時	農林産物、野菜、花	あぜみち研究会
ファーマーズマーケットかっちゃん	旧Aコープ勝山店	5月～11月 毎週火・木・日曜日 午前8時30分～12時	野菜、花ほか	JAテラル越前
かつやま土曜夕市	市民活動センター前	5月～11月 毎週土曜日 午後3時～5時	農産物、木工品、 手芸品	かつやま土曜夕市

（場所や営業日、時間に変更することがあります。）

市内の農産物直売所
市内には、次のような農産物直売所があります。
直売所では、朝とれたばかりの新鮮な野菜を対面販売しています。
生産者の顔が分かり安全で安心です。



地産地消

安全で安心な地元の“旬”を食卓へ

地産地消とは・・・

「地域で生産されたものを地域で消費すること」

地産地消のメリット

- その1 季節ごとの新鮮なものを味わえます。
- ・地場のものなので新鮮で、安全・安心です。
 - ・季節に応じた“旬”のものが味わえます。
- その2 生産者と消費者のコミュニケーションが生まれます。
- ・生産者が分かり、生産物を身近に感じることができます。
 - ・消費者の意見を聞くことができ、ものを作る上で参考になります。
- その3 省エネルギー、省コストにつながります。
- ・近くに運ぶので、燃料や流通コストがかかりません。
 - ・包装も簡単に済み、省資源につながります。

近年、輸入農産物の増加や農業問題、遺伝子組み替え食品など、「食」に対する人びとの関心が高まっています。「食」は健康と密接な関わりをもっていますが、それを支えているのが「農業」や「水産業」です。
勝山市でも、「地場産物の消費拡大」という面だけでなく、「安心で健全な食生活の実現」や「子どもたちへの「食」教育（食育）」のため、「地産地消運動」が徐々に進められています。
今回の特集では、学校給食や地域での取り組みなどを紹介します。

